

生命環境科学研究科 生物科学専攻（博士後期課程）

共通科目

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|--------------|------|-----|--------|------|-----|----|--|---|------------------------------|
| 02AU001 | 先端生物科学特別セミナー | 1 | 1.0 | 1 - 3 | 通年 | 水6 | | 中田 和人 | 生物学研究の面白さを実感できるよう、毎回各分野におけるホットな研究内容を取りあげて、生物学研究の現状と将来展望についての理解力を養う。 | |
| 02AU002 | 先端生物科学特別講義 | 1 | 1.0 | 1 - 3 | 秋A | 集中 | | 阿部 訓也, 伊藤 弓弦, 大西 和夫, 谷口 彰良, 廣瀬 恵子, 星野 保, 細矢 剛, 細谷 昌樹, 正木 隆, 設楽 浩志, 永宗 喜三郎, 藤原 すみれ, 守屋 繁春 | 生物科学専攻担当の全連携大学院教員によるオンバス方式の集中講義である。それぞれの教員が得た研究成果に基づいた生物学の最先端研究について紹介するとともに、それらの研究の意義や研究法の原理と応用等について講義する。 | 01AA007と同時実施。 10/29-10/30 |
| 02AU003 | 先端バイオ技術実習 | 6 | 2.0 | 1 - 3 | 通年 | 集中 | | 宮村 新一, 古久保 徳永 克男 | 透過型電子顕微鏡, 走査型電子顕微鏡と共焦点顕微鏡の試料作成と観察を行い, 操作方法の習熟を目指す。先端的な応用方法に関する講義も合わせて行う。 | |

専門科目 (平成27年度以降)

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|-----------------|------|-----|--------|------|-----|----|---|---|----------------------------------|
| 02AU221 | 系統分類・進化学セミナーC1 | 2 | 1.5 | 1 | 春ABC | 応談 | | 石田 健一郎, 本多 正尚, 町田 龍一郎, 和田 洋, 桑原 朋彦, 中野 裕昭, 中山 剛, 出川 洋介, 守野 孔明 | 分子系統解析、個体発生解析、細胞機能・構造解析、オミクス解析、分子機能解析、形態比較、行動解析などに基づき、生物の進化・多様性や生物分類を論じた論文をプレゼン形式等で紹介し、論文中に記述されている実験・観察手法、結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点を議論する。 | 平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU222 | 系統分類・進化学セミナーC11 | 2 | 1.5 | 1 | 秋ABC | 応談 | | 石田 健一郎, 本多 正尚, 町田 龍一郎, 和田 洋, 桑原 朋彦, 中野 裕昭, 中山 剛, 出川 洋介, 守野 孔明 | 分子系統解析、個体発生解析、細胞機能・構造解析、オミクス解析、分子機能解析、形態比較、行動解析などに基づき、生物の進化・多様性や生物分類を論じた論文をプレゼン形式等で紹介し、論文中に記述されている実験・観察手法、結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点を議論する。 | 平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU223 | 系統分類・進化学セミナーD1 | 2 | 1.5 | 2 | 春ABC | 応談 | | 石田 健一郎, 本多 正尚, 町田 龍一郎, 和田 洋, 桑原 朋彦, 中野 裕昭, 中山 剛, 出川 洋介, 守野 孔明 | 分子系統解析、個体発生解析、細胞機能・構造解析、オミクス解析、分子機能解析、形態比較、行動解析などに基づき、生物の進化・多様性や生物分類を論じた論文をプレゼン形式等で紹介し、論文中に記述されている実験・観察手法、結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点を議論する。 | 平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU224 | 系統分類・進化学セミナーD11 | 2 | 1.5 | 2 | 秋ABC | 応談 | | 石田 健一郎, 本多 正尚, 町田 龍一郎, 和田 洋, 桑原 朋彦, 中野 裕昭, 中山 剛, 出川 洋介, 守野 孔明 | 分子系統解析、個体発生解析、細胞機能・構造解析、オミクス解析、分子機能解析、形態比較、行動解析などに基づき、生物の進化・多様性や生物分類を論じた論文をプレゼン形式等で紹介し、論文中に記述されている実験・観察手法、結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点を議論する。 | 平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU225 | 系統分類・進化学セミナーE1 | 2 | 1.5 | 3 | 春ABC | 応談 | | 石田 健一郎, 本多 正尚, 町田 龍一郎, 和田 洋, 桑原 朋彦, 中野 裕昭, 中山 剛, 出川 洋介, 守野 孔明 | 分子系統解析、個体発生解析、細胞機能・構造解析、オミクス解析、分子機能解析、形態比較、行動解析などに基づき、生物の進化・多様性や生物分類を論じた論文をプレゼン形式等で紹介し、論文中に記述されている実験・観察手法、結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点を議論する。 | 平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU226 | 系統分類・進化学セミナーE11 | 2 | 1.5 | 3 | 秋ABC | 応談 | | 石田 健一郎, 本多 正尚, 町田 龍一郎, 和田 洋, 桑原 朋彦, 中野 裕昭, 中山 剛, 出川 洋介, 守野 孔明 | 分子系統解析、個体発生解析、細胞機能・構造解析、オミクス解析、分子機能解析、形態比較、行動解析などに基づき、生物の進化・多様性や生物分類を論じた論文をプレゼン形式等で紹介し、論文中に記述されている実験・観察手法、結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点を議論する。 | 平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU227 | 系統分類・進化学講義1 | 7 | 1.5 | 3 | 春ABC | 応談 | | 石田 健一郎, 本多 正尚, 町田 龍一郎, 和田 洋, 桑原 朋彦, 中野 裕昭, 中山 剛, 出川 洋介 | 分子系統解析、個体発生解析、細胞機能・構造解析、オミクス解析、分子機能解析、形態比較、行動解析など系統分類・進化学に関する実験方法、得られたデータを解析する方法を教授する。また、実際の実験・観察結果から導き出した結論の妥当性や問題点の吟味、先行研究との比較などを指導し、高度な研究能力を修得させる。 | 平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|--------------|------|-----|--------|------|-----|----|--|---|----------------------------------|
| 02AU228 | 系統分類・進化学講究II | 7 | 1.5 | 3 | 秋ABC | 応談 | | 石田 健一郎, 本多 正尚, 町田 龍一郎, 和田 洋, 桑原 朋彦, 中野 裕昭, 中山 剛, 出川 洋介 | 分子系統解析、個体発生解析、細胞機能・構造解析、オミクス解析、分子機能解析、形態比較、行動解析など系統分類・進化学に関する実験方法、得られたデータを解析する方法を教授する。また、実際の実験・観察結果から導き出した結論の妥当性や問題点の吟味、先行研究との比較などを指導し、高度な研究能力を修得させる。 | 平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU231 | 生態学セミナーCI | 2 | 1.5 | 1 | 春ABC | 応談 | | 徳永 幸彦, 田中 健太, 津田 吉晃, 廣田 充, 大橋 一晴, 今 孝悦, 佐藤 幸恵, 和田 茂樹, アグスティーン シルバン レオナー ジョージ | 実験生態学や野外生態学、理論生態学の手法に基づき、行動生態、個体群生態、群集生態、生態系などを論じた論文を読み、論文中に記述されている実験、観察手法、および実験結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点を議論する。 | 平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU232 | 生態学セミナーCII | 2 | 1.5 | 1 | 秋ABC | 応談 | | 徳永 幸彦, 田中 健太, 津田 吉晃, 廣田 充, 大橋 一晴, 今 孝悦, 佐藤 幸恵, 和田 茂樹, アグスティーン シルバン レオナー ジョージ | 実験生態学や野外生態学、理論生態学の手法に基づき、行動生態、個体群生態、群集生態、生態系などを論じた論文を読み、論文中に記述されている実験、観察手法、および実験結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点を議論する。 | 平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU233 | 生態学セミナーDI | 2 | 1.5 | 2 | 春ABC | 応談 | | 徳永 幸彦, 田中 健太, 津田 吉晃, 廣田 充, 大橋 一晴, 今 孝悦, 佐藤 幸恵, 和田 茂樹, アグスティーン シルバン レオナー ジョージ | 実験生態学や野外生態学、理論生態学の手法に基づき、行動生態、個体群生態、群集生態、生態系などを論じた論文を読み、論文中に記述されている実験、観察手法、および実験結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点を議論する。 | 平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU234 | 生態学セミナーDII | 2 | 1.5 | 2 | 秋ABC | 応談 | | 徳永 幸彦, 田中 健太, 津田 吉晃, 廣田 充, 大橋 一晴, 今 孝悦, 佐藤 幸恵, 和田 茂樹, アグスティーン シルバン レオナー ジョージ | 実験生態学や野外生態学、理論生態学の手法に基づき、行動生態、個体群生態、群集生態、生態系などを論じた論文を読み、論文中に記述されている実験、観察手法、および実験結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点を議論する。 | 平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU235 | 生態学セミナーEI | 2 | 1.5 | 3 | 春ABC | 応談 | | 徳永 幸彦, 田中 健太, 津田 吉晃, 廣田 充, 大橋 一晴, 今 孝悦, 佐藤 幸恵, 和田 茂樹, アグスティーン シルバン レオナー ジョージ | 実験生態学や野外生態学、理論生態学の手法に基づき、行動生態、個体群生態、群集生態、生態系などを論じた論文を読み、論文中に記述されている実験、観察手法、および実験結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点を議論する。 | 平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU236 | 生態学セミナーEII | 2 | 1.5 | 3 | 秋ABC | 応談 | | 徳永 幸彦, 田中 健太, 津田 吉晃, 廣田 充, 大橋 一晴, 今 孝悦, 佐藤 幸恵, 和田 茂樹, アグスティーン シルバン レオナー ジョージ | 実験生態学や野外生態学、理論生態学の手法に基づき、行動生態、個体群生態、群集生態、生態系などを論じた論文を読み、論文中に記述されている実験、観察手法、および実験結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点を議論する。 | 平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU237 | 生態学講究I | 7 | 1.5 | 3 | 春ABC | 応談 | | 徳永 幸彦, 田中 健太, 津田 吉晃, 廣田 充, 大橋 一晴, 今 孝悦, 佐藤 幸恵 | 個体(生理、行動)、個体群、群集、そして生態系など、様々なレベルにおける生態学の実験、観察方法、得られたデータを解析する方法を教授する。また、実際の実験・観察結果から導き出した結論の妥当性や問題点の吟味、先行研究との比較などを指導し、高度の研究能力を修得させる。 | 平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU238 | 生態学講究II | 7 | 1.5 | 3 | 秋ABC | 応談 | | 徳永 幸彦, 田中 健太, 津田 吉晃, 廣田 充, 大橋 一晴, 今 孝悦, 佐藤 幸恵 | 個体(生理、行動)、個体群、群集、そして生態系など、様々なレベルにおける生態学の実験、観察方法、得られたデータを解析する方法を教授する。また、実際の実験・観察結果から導き出した結論の妥当性や問題点の吟味、先行研究との比較などを指導し、高度の研究能力を修得させる。 | 平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|-----------------|------|-----|--------|------|-----|----|---|--|----------------------------------|
| 02AU241 | 植物発生・生理学セミナーC1 | 2 | 1.5 | 1 | 春ABC | 応談 | | 鈴木 石根 | 植物発生・生理学に関わる論文を読み、論文中に記述されている実験・観察手法、結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点を議論する。発表者以外の受講生は提示された情報から、疑問点、問題点等を見出し、発表者に向けて質問を行う事により、発表者との議論を深めながら、新規な実験手法・解析手法について理解する。発表および議論は可能な限り英語で行う。 | 平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU242 | 植物発生・生理学セミナーC11 | 2 | 1.5 | 1 | 秋ABC | 応談 | | 鈴木 石根 | 植物発生・生理学に関わる論文を読み、論文中に記述されている実験・観察手法、結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点を議論する。発表者以外の受講生は提示された情報から、疑問点、問題点等を見出し、発表者に向けて質問を行う事により、発表者との議論を深めながら、新規な実験手法・解析手法について理解する。発表および議論は可能な限り英語で行う。 | 平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU243 | 植物発生・生理学セミナーD1 | 2 | 1.5 | 2 | 春ABC | 応談 | | 鈴木 石根 | 植物発生・生理学に関わる論文を読み、論文中に記述されている実験・観察手法、結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点を議論する。発表者以外の受講生は提示された情報から、疑問点、問題点等を見出し、発表者に向けて質問を行う事により、発表者との議論を深めながら、新規な実験手法・解析手法について理解する。発表および議論は可能な限り英語で行う。 | 平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU244 | 植物発生・生理学セミナーD11 | 2 | 1.5 | 2 | 秋ABC | 応談 | | 鈴木 石根 | 植物発生・生理学に関わる論文を読み、論文中に記述されている実験・観察手法、結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点を議論する。発表者以外の受講生は提示された情報から、疑問点、問題点等を見出し、発表者に向けて質問を行う事により、発表者との議論を深めながら、新規な実験手法・解析手法について理解する。発表および議論は可能な限り英語で行う。 | 平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU245 | 植物発生・生理学セミナーE1 | 2 | 1.5 | 3 | 春ABC | 応談 | | 鈴木 石根 | 植物発生・生理学に関わる論文を読み、論文中に記述されている実験・観察手法、結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点を議論する。発表者以外の受講生は提示された情報から、疑問点、問題点等を見出し、発表者に向けて質問を行う事により、発表者との議論を深めながら、新規な実験手法・解析手法について理解する。発表および議論は英語で行う。 | 平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU246 | 植物発生・生理学セミナーE11 | 2 | 1.5 | 3 | 秋ABC | 応談 | | 鈴木 石根 | 植物発生・生理学に関わる論文を読み、論文中に記述されている実験・観察手法、結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点を議論する。発表者以外の受講生は提示された情報から、疑問点、問題点等を見出し、発表者に向けて質問を行う事により、発表者との議論を深めながら、新規な実験手法・解析手法について理解する。発表および議論は英語で行う。 | 平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU247 | 植物発生・生理学講義I | 7 | 1.5 | 3 | 春ABC | 応談 | | 鈴木 石根 | 遺伝学的解析、生理学・生化学・分子生物学的解析、オミクス解析などに関する実験方法、得られたデータを統計的に解析する方法を教授する。また、実際の実験・観察結果から導き出した結論の妥当性や問題点の吟味、先行研究との比較などを指導し、高度の研究能力を修得させる。現象の記述にとどまらず、物事の原理本質についていかにすれば解明に至るかを身につける。 | 平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU248 | 植物発生・生理学講義II | 7 | 1.5 | 3 | 秋ABC | 応談 | | 鈴木 石根 | 遺伝学的解析、生理学・生化学・分子生物学的解析、オミクス解析などに関する実験方法、得られたデータを統計的に解析する方法を教授する。また、実際の実験・観察結果から導き出した結論の妥当性や問題点の吟味、先行研究との比較などを指導し、高度の研究能力を修得させる。現象の記述にとどまらず、物事の原理本質についていかにすれば解明に至るかを身につける。 | 平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU251 | 動物発生・生理学セミナーC1 | 2 | 1.5 | 1 | 春ABC | 応談 | | 古久保・徳永 克男、小林 悟、笹倉 靖徳、千葉 親文、丹羽 隆介、谷口 俊介、大網 一則、櫻井 啓輔、林 誠、林 良樹、堀江 健生、丸尾 文昭、島田 裕子 | 分子レベル、細胞レベル、および個体レベルの観点から動物の発生現象あるいは生理現象を論じた論文を読み、論文中で記載されている実験の手法と実験結果から結論が導かれる過程を吟味し、結果の新規性と今後に残された問題点、そして将来の研究の方向性を議論する。 | 平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|-----------------|------|-----|--------|------|-----|----|--|---|----------------------------------|
| 02AU252 | 動物発生・生理学セミナーCII | 2 | 1.5 | 1 | 秋ABC | 応談 | | 古久保-徳永 克男, 小林 悟, 笹倉靖徳, 千葉 親文, 丹羽 隆介, 谷口俊介, 大網 一則, 櫻井 啓輔, 林 誠, 林 良樹, 堀江健生, 丸尾 文昭, 島田 裕子 | 分子レベル、細胞レベル、および個体レベルの観点から動物の発生現象あるいは生理現象を論じた論文を読み、論文中で記載されている実験の手法と実験結果から結論が導かれる過程を吟味し、結果の新規性と今後に残された問題点、そして将来の研究の方向性を議論する。 | 平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU253 | 動物発生・生理学セミナーDI | 2 | 1.5 | 2 | 春ABC | 応談 | | 古久保-徳永 克男, 小林 悟, 笹倉靖徳, 千葉 親文, 丹羽 隆介, 谷口俊介, 大網 一則, 櫻井 啓輔, 林 誠, 林 良樹, 堀江健生, 丸尾 文昭, 島田 裕子 | 分子レベル、細胞レベル、および個体レベルの観点から動物の発生現象あるいは生理現象を論じた論文を読み、論文中で記載されている実験の手法と実験結果から結論が導かれる過程を吟味し、結果の新規性と今後に残された問題点、そして将来の研究の方向性を議論する。 | 平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU254 | 動物発生・生理学セミナーDII | 2 | 1.5 | 2 | 秋ABC | 応談 | | 古久保-徳永 克男, 小林 悟, 笹倉靖徳, 千葉 親文, 丹羽 隆介, 谷口俊介, 大網 一則, 櫻井 啓輔, 林 誠, 林 良樹, 堀江健生, 丸尾 文昭, 島田 裕子 | 分子レベル、細胞レベル、および個体レベルの観点から動物の発生現象あるいは生理現象を論じた論文を読み、論文中で記載されている実験の手法と実験結果から結論が導かれる過程を吟味し、結果の新規性と今後に残された問題点、そして将来の研究の方向性を議論する。 | 平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU255 | 動物発生・生理学セミナーEI | 2 | 1.5 | 3 | 春ABC | 応談 | | 古久保-徳永 克男, 小林 悟, 笹倉靖徳, 千葉 親文, 丹羽 隆介, 谷口俊介, 大網 一則, 櫻井 啓輔, 林 誠, 林 良樹, 堀江健生, 丸尾 文昭, 島田 裕子 | 分子レベル、細胞レベル、および個体レベルの観点から動物の発生現象あるいは生理現象を論じた論文を読み、論文中で記載されている実験の手法と実験結果から結論が導かれる過程を吟味し、結果の新規性と今後に残された問題点、そして将来の研究の方向性を議論する。 | 平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU256 | 動物発生・生理学セミナーEII | 2 | 1.5 | 3 | 秋ABC | 応談 | | 古久保-徳永 克男, 小林 悟, 笹倉靖徳, 千葉 親文, 丹羽 隆介, 谷口俊介, 大網 一則, 櫻井 啓輔, 林 誠, 林 良樹, 堀江健生, 丸尾 文昭, 島田 裕子 | 分子レベル、細胞レベル、および個体レベルの観点から動物の発生現象あるいは生理現象を論じた論文を読み、論文中で記載されている実験の手法と実験結果から結論が導かれる過程を吟味し、結果の新規性と今後に残された問題点、そして将来の研究の方向性を議論する。 | 平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU257 | 動物発生・生理学講義I | 7 | 1.5 | 3 | 春ABC | 応談 | | 古久保-徳永 克男, 小林 悟, 笹倉靖徳, 千葉 親文, 丹羽 隆介, 谷口俊介, 櫻井 啓輔 | 分子生物学的研究、遺伝学的研究、生化学的研究、生理学的研究、各種オミクス研究を実施するための実験手法、またこれらの手法を通じて得られたデータを解析する方法を教授する。また、実際の実験と観察の結果から導き出した結論の妥当性や問題点の吟味、先行研究との比較などを指導し、高度の研究能力を修得させる。 | 平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU258 | 動物発生・生理学講義II | 7 | 1.5 | 3 | 秋ABC | 応談 | | 古久保-徳永 克男, 小林 悟, 笹倉靖徳, 千葉 親文, 丹羽 隆介, 谷口俊介, 櫻井 啓輔 | 分子生物学的研究、遺伝学的研究、生化学的研究、生理学的研究、各種オミクス研究を実施するための実験手法、またこれらの手法を通じて得られたデータを解析する方法を教授する。また、実際の実験と観察の結果から導き出した結論の妥当性や問題点の吟味、先行研究との比較などを指導し、高度の研究能力を修得させる。 | 平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU261 | 分子細胞生物学セミナーCI | 2 | 1.5 | 1 | 春ABC | 応談 | | 中田 和人, 稲葉一男, 千葉 智樹, 三浦 謙治, ホール スペンサー ジェイソン マイケル, 坂本 和一, 壽崎 拓哉, 中野賢太郎, 宮村 新一, 石川 香, 柴小菊, 鶴田 文憲, 平川 泰久 | 分子生物学及び細胞生物学に関する最新の学術論文を読み、論文中に記述されている実験手法、実験結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点の討論を行う。 | 平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|----------------|------|-----|--------|------|-----|----|--|---|----------------------------------|
| 02AU262 | 分子細胞生物学セミナーC11 | 2 | 1.5 | 1 | 秋ABC | 応談 | | 中田 和人, 稲葉一男, 千葉 智樹, 三浦 謙治, ホール スペンサー ジェイソン マイケル, 坂本 和一, 壽崎 拓哉, 中野賢太郎, 宮村 新一, 石川 香, 柴小菊, 鶴田 文憲, 平川 泰久 | 分子生物学及び細胞生物学に関する最新の学術論文を読み、論文中に記述されている実験手法、実験結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点の討論を行う。 | 平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU263 | 分子細胞生物学セミナーD1 | 2 | 1.5 | 2 | 春ABC | 応談 | | 中田 和人, 稲葉一男, 千葉 智樹, 三浦 謙治, ホール スペンサー ジェイソン マイケル, 坂本 和一, 壽崎 拓哉, 中野賢太郎, 宮村 新一, 石川 香, 柴小菊, 鶴田 文憲, 平川 泰久 | 分子生物学及び細胞生物学に関する最新の学術論文を読み、論文中に記述されている実験手法、実験結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点の討論を行う。 | 平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU264 | 分子細胞生物学セミナーD11 | 2 | 1.5 | 2 | 秋ABC | 応談 | | 中田 和人, 稲葉一男, 千葉 智樹, 三浦 謙治, ホール スペンサー ジェイソン マイケル, 坂本 和一, 壽崎 拓哉, 中野賢太郎, 宮村 新一, 石川 香, 柴小菊, 鶴田 文憲, 平川 泰久 | 分子生物学及び細胞生物学に関する最新の学術論文を読み、論文中に記述されている実験手法、実験結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点の討論を行う。 | 平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU265 | 分子細胞生物学セミナーE1 | 2 | 1.5 | 3 | 春ABC | 応談 | | 中田 和人, 稲葉一男, 千葉 智樹, 三浦 謙治, ホール スペンサー ジェイソン マイケル, 坂本 和一, 壽崎 拓哉, 中野賢太郎, 宮村 新一, 石川 香, 柴小菊, 鶴田 文憲, 平川 泰久 | 分子生物学及び細胞生物学に関する最新の学術論文を読み、論文中に記述されている実験手法、実験結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点の討論を行う。 | 平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU266 | 分子細胞生物学セミナーE11 | 2 | 1.5 | 3 | 秋ABC | 応談 | | 中田 和人, 稲葉一男, 千葉 智樹, 三浦 謙治, ホール スペンサー ジェイソン マイケル, 坂本 和一, 壽崎 拓哉, 中野賢太郎, 宮村 新一, 石川 香, 柴小菊, 鶴田 文憲, 平川 泰久 | 分子生物学及び細胞生物学に関する最新の学術論文を読み、論文中に記述されている実験手法、実験結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点の討論を行う。 | 平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU267 | 分子細胞生物学講義I | 7 | 1.5 | 3 | 春ABC | 応談 | | 中田 和人, 稲葉一男, 千葉 智樹, 三浦 謙治, ホール スペンサー ジェイソン マイケル, 坂本 和一, 壽崎 拓哉, 中野賢太郎, 宮村 新一 | 分子生物学的・細胞生物学的解析などに関する実験方法、得られたデータを解析する方法を教授する。また、実際の実験・観察結果から導き出した結論の妥当性や問題点の吟味、先行研究との比較などを指導し、高度の研究能力を修得させる。 | 平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|---------------|------|-----|--------|------|-----|----|--|---|--|
| 02AU268 | 分子細胞生物学講義II | 7 | 1.5 | 3 | 秋ABC | 応談 | | 中田 和人, 稲葉 一男, 千葉 智樹, 三浦 謙治, ホール スペンサー ジェyson マイケル, 坂本 和一, 壽崎 拓哉, 中野 賢太郎, 宮村 新一 | 分子生物学的・細胞生物学的解析などに関する実験方法、得られたデータを解析する方法を教授する。また、実際の実験・観察結果から導き出した結論の妥当性や問題点の吟味、先行研究との比較などを指導し、高度の研究能力を修得させる。 | 平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU271 | ゲノム情報学セミナーCI | 2 | 1.5 | 1 | 春ABC | 応談 | | 橋本 哲男, 稲垣 祐司, 桑山 秀一, 澤村 京一, 伊藤 希 | 遺伝学的解析やオミクス解析に基づき細胞構造、分子機能、進化多様性などを論じた論文を読み、論文中に記述されている実験手法、実験結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点を議論する。 | 平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU272 | ゲノム情報学セミナーCII | 2 | 1.5 | 1 | 秋ABC | 応談 | | 橋本 哲男, 稲垣 祐司, 桑山 秀一, 澤村 京一, 伊藤 希 | 遺伝学的解析やオミクス解析に基づき細胞構造、分子機能、進化多様性などを論じた論文を読み、論文中に記述されている実験手法、実験結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点を議論する。 | 平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU273 | ゲノム情報学セミナーDI | 2 | 1.5 | 2 | 春ABC | 応談 | | 橋本 哲男, 稲垣 祐司, 桑山 秀一, 澤村 京一, 伊藤 希 | 遺伝学的解析やオミクス解析に基づき細胞構造、分子機能、進化多様性などを論じた論文を読み、論文中に記述されている実験手法、実験結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点を議論する。 | 平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU274 | ゲノム情報学セミナーDII | 2 | 1.5 | 2 | 秋ABC | 応談 | | 橋本 哲男, 稲垣 祐司, 桑山 秀一, 澤村 京一, 伊藤 希 | 遺伝学的解析やオミクス解析に基づき細胞構造、分子機能、進化多様性などを論じた論文を読み、論文中に記述されている実験手法、実験結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点を議論する。 | 平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU275 | ゲノム情報学セミナーEI | 2 | 1.5 | 3 | 春ABC | 応談 | | 橋本 哲男, 稲垣 祐司, 桑山 秀一, 澤村 京一, 伊藤 希 | 遺伝学的解析やオミクス解析に基づき細胞構造、分子機能、進化多様性などを論じた論文を読み、論文中に記述されている実験手法、実験結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点を議論する。 | 平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU276 | ゲノム情報学セミナーEII | 2 | 1.5 | 3 | 秋ABC | 応談 | | 橋本 哲男, 稲垣 祐司, 桑山 秀一, 澤村 京一, 伊藤 希 | 遺伝学的解析やオミクス解析に基づき細胞構造、分子機能、進化多様性などを論じた論文を読み、論文中に記述されている実験手法、実験結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点を議論する。 | 平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU277 | ゲノム情報学講義I | 7 | 1.5 | 3 | 春ABC | 応談 | | 橋本 哲男, 稲垣 祐司, 桑山 秀一, 澤村 京一 | 遺伝学的解析、生化学・分子生物学的解析、オミクス解析などに関する実験方法、得られたデータを解析する方法を教授する。また、実際の実験・観察結果から導き出した結論の妥当性や問題点の吟味、先行研究との比較などを指導し、高度の研究能力を修得させる。 | 平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU278 | ゲノム情報学講義II | 7 | 1.5 | 3 | 秋ABC | 応談 | | 橋本 哲男, 稲垣 祐司, 桑山 秀一, 澤村 京一 | 遺伝学的解析、生化学・分子生物学的解析、オミクス解析などに関する実験方法、得られたデータを解析する方法を教授する。また、実際の実験・観察結果から導き出した結論の妥当性や問題点の吟味、先行研究との比較などを指導し、高度の研究能力を修得させる。 | 平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU287 | 先端細胞生物学講義I | 7 | 1.5 | 3 | 春ABC | 応談 | | 阿部 訓也, 大西 和夫, 瀬瀬 恵子, 設楽 浩志, 永宗 喜三郎, 松井 久典 | 分子生物学的研究、遺伝学的研究、生化学的研究、生理学的研究、各種オミクス研究を実施するための実験手法、またこれらの手法を通じて得られたデータを解析する方法を教授する。また、実際の実験と観察の結果から導き出した結論の妥当性や問題点の吟味、先行研究との比較などを指導し、高度の研究能力を修得させる。 | 平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能 |
| 02AU288 | 先端細胞生物学講義II | 7 | 1.5 | 3 | 秋ABC | 応談 | | 阿部 訓也, 大西 和夫, 瀬瀬 恵子, 設楽 浩志, 永宗 喜三郎, 松井 久典 | 分子生物学的研究、遺伝学的研究、生化学的研究、生理学的研究、各種オミクス研究を実施するための実験手法、またこれらの手法を通じて得られたデータを解析する方法を教授する。また、実際の実験と観察の結果から導き出した結論の妥当性や問題点の吟味、先行研究との比較などを指導し、高度の研究能力を修得させる。 | 平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能 |
| 02AU297 | 先端分子生物学講義I | 7 | 1.5 | 3 | 春ABC | 応談 | | 細谷 昌樹, 細矢 剛, 星野 保, 正木 隆, 藤原 すみれ, 守屋 繁春, 田島 木綿子 | 分子生物学的研究、遺伝学的研究、生化学的研究、生理学的研究、各種オミクス研究を実施するための実験手法、またこれらの手法を通じて得られたデータを解析する方法を教授する。また、実際の実験と観察の結果から導き出した結論の妥当性や問題点の吟味、先行研究との比較などを指導し、高度の研究能力を修得させる。 | 平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能 |
| 02AU298 | 先端分子生物学講義II | 7 | 1.5 | 3 | 秋ABC | 応談 | | 細谷 昌樹, 細矢 剛, 星野 保, 正木 隆, 藤原 すみれ, 守屋 繁春, 田島 木綿子 | 分子生物学的研究、遺伝学的研究、生化学的研究、生理学的研究、各種オミクス研究を実施するための実験手法、またこれらの手法を通じて得られたデータを解析する方法を教授する。また、実際の実験と観察の結果から導き出した結論の妥当性や問題点の吟味、先行研究との比較などを指導し、高度の研究能力を修得させる。 | 平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能 |

専門科目 (平成26年度以前)

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|------|-----|------|-----|--------|------|-----|----|------|------|----|
|------|-----|------|-----|--------|------|-----|----|------|------|----|

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|----------------|------|-----|--------|------|-----|-----|---|---|----------------------------------|
| 02AU101 | 多様性生物学セミナーCI | 2 | 1.0 | 1 | 春AB | 応談 | 研究室 | 石田 健一郎, 稲垣 祐司, 橋本 哲男, 古久保-徳永 克男, 本多 正尚, 町田 龍一郎, 和田 洋, 濱 健夫, 桑原 朋彦, 澤村 京一, 田中 健太, 徳永 幸彦, 丹羽 隆介, 廣田 充, 伊藤 希, 大橋 一晴, 今 孝悦, 出川 洋介, 平川 泰久, 丸尾 文昭, 和田 茂樹, アゴス ティーニ シルバン レオナー ジョージ | 多様性生物学の観点から, 研究課題に関連する論文を購読させ, 実験の方法や考え方の有用性と限界, 新しい方法や視点の開発などにつき, 具体的な研究例を取り上げて討論する。 | 平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU102 | 多様性生物学セミナーCII | 2 | 1.0 | 1 | 春C秋A | 応談 | 研究室 | 石田 健一郎, 稲垣 祐司, 橋本 哲男, 古久保-徳永 克男, 本多 正尚, 町田 龍一郎, 和田 洋, 濱 健夫, 桑原 朋彦, 澤村 京一, 田中 健太, 徳永 幸彦, 丹羽 隆介, 廣田 充, 伊藤 希, 大橋 一晴, 今 孝悦, 出川 洋介, 平川 泰久, 丸尾 文昭, 和田 茂樹, アゴス ティーニ シルバン レオナー ジョージ | 多様性生物学の観点から, 研究課題に関連する論文を購読させ, 実験の方法や考え方の有用性と限界, 新しい方法や視点の開発などにつき, 具体的な研究例を取り上げて討論する。 | 平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU103 | 多様性生物学セミナーCIII | 2 | 1.0 | 1 | 秋BC | 応談 | 研究室 | 石田 健一郎, 稲垣 祐司, 橋本 哲男, 古久保-徳永 克男, 本多 正尚, 町田 龍一郎, 和田 洋, 濱 健夫, 桑原 朋彦, 澤村 京一, 田中 健太, 徳永 幸彦, 丹羽 隆介, 廣田 充, 伊藤 希, 大橋 一晴, 今 孝悦, 出川 洋介, 平川 泰久, 丸尾 文昭, 和田 茂樹, アゴス ティーニ シルバン レオナー ジョージ | 多様性生物学の観点から, 研究課題に関連する論文を購読させ, 実験の方法や考え方の有用性と限界, 新しい方法や視点の開発などにつき, 具体的な研究例を取り上げて討論する。 | 平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU104 | 多様性生物学セミナーDI | 2 | 1.0 | 2 | 春AB | 応談 | 研究室 | 石田 健一郎, 稲垣 祐司, 橋本 哲男, 古久保-徳永 克男, 本多 正尚, 町田 龍一郎, 和田 洋, 濱 健夫, 桑原 朋彦, 澤村 京一, 田中 健太, 徳永 幸彦, 丹羽 隆介, 廣田 充, 伊藤 希, 大橋 一晴, 今 孝悦, 出川 洋介, 平川 泰久, 丸尾 文昭, 和田 茂樹, アゴス ティーニ シルバン レオナー ジョージ | 多様性生物学の観点から, 研究課題に関連する論文を購読させ, 実験の方法や考え方, 得られたデータの解析と解釈, 国内外の類似の研究との比較検討などにつき, 実際の例に基づいて討論する。 | 平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|----------------|------|-----|--------|------|-----|-----|---|---|----------------------------------|
| 02AU105 | 多様性生物学セミナーDII | 2 | 1.0 | 2 | 春C秋A | 応談 | 研究室 | 石田 健一郎, 稲垣 祐司, 橋本 哲男, 古久保-徳永 克男, 本多 正尚, 町田 龍一郎, 和田 洋, 濱 健夫, 桑原 朋彦, 澤村 京一, 田中 健太, 徳永 幸彦, 丹羽 隆介, 廣田 充, 伊藤 希, 大橋 一晴, 今 孝悦, 出川 洋介, 平川 泰久, 丸尾 文昭, 和田 茂樹, アゴス ティーニ シルバン レオナー ジョージ | 多様性生物学の観点から, 研究課題に関連する論文を購読させ, 実験の方法や考え方, 得られたデータの解析と解釈, 国内外の類似の研究との比較検討などにつき, 実際の例に基づいて討論する。 | 平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU106 | 多様性生物学セミナーDIII | 2 | 1.0 | 2 | 秋BC | 応談 | 研究室 | 石田 健一郎, 稲垣 祐司, 橋本 哲男, 古久保-徳永 克男, 本多 正尚, 町田 龍一郎, 和田 洋, 濱 健夫, 桑原 朋彦, 澤村 京一, 田中 健太, 徳永 幸彦, 丹羽 隆介, 廣田 充, 伊藤 希, 大橋 一晴, 今 孝悦, 出川 洋介, 平川 泰久, 丸尾 文昭, 和田 茂樹, アゴス ティーニ シルバン レオナー ジョージ | 多様性生物学の観点から, 研究課題に関連する論文を購読させ, 実験の方法や考え方, 得られたデータの解析と解釈, 国内外の類似の研究との比較検討などにつき, 実際の例に基づいて討論する。 | 平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU107 | 多様性生物学セミナーEI | 2 | 1.0 | 3 | 春AB | 応談 | 研究室 | 石田 健一郎, 稲垣 祐司, 橋本 哲男, 古久保-徳永 克男, 本多 正尚, 町田 龍一郎, 和田 洋, 濱 健夫, 桑原 朋彦, 澤村 京一, 田中 健太, 徳永 幸彦, 丹羽 隆介, 廣田 充, 伊藤 希, 大橋 一晴, 今 孝悦, 出川 洋介, 平川 泰久, 丸尾 文昭, 和田 茂樹, アゴス ティーニ シルバン レオナー ジョージ | 多様性生物学の観点から, 研究課題に関連するより広い領域の論文を購読させ, 自身の研究課題について体系化し, 学位論文のまとめ方について方針が立てられるよう指導する。 | 平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU108 | 多様性生物学セミナーEII | 2 | 1.0 | 3 | 春C秋A | 応談 | 研究室 | 石田 健一郎, 稲垣 祐司, 橋本 哲男, 古久保-徳永 克男, 本多 正尚, 町田 龍一郎, 和田 洋, 濱 健夫, 桑原 朋彦, 澤村 京一, 田中 健太, 徳永 幸彦, 丹羽 隆介, 廣田 充, 伊藤 希, 大橋 一晴, 今 孝悦, 出川 洋介, 平川 泰久, 丸尾 文昭, 和田 茂樹, アゴス ティーニ シルバン レオナー ジョージ | 多様性生物学の観点から, 研究課題に関連するより広い領域の論文を購読させ, 自身の研究課題について体系化し, 学位論文のまとめ方について方針が立てられるよう指導する。 | 平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|----------------|------|-----|--------|------|-----|-----|---|--|----------------------------------|
| 02AU109 | 多様性生物学セミナーEIII | 2 | 1.0 | 3 | 秋BC | 応談 | 研究室 | 石田 健一郎, 稲垣 祐司, 橋本 哲男, 古久保-徳永 克男, 本多 正尚, 町田 龍一郎, 和田 洋, 濱 健夫, 桑原 朋彦, 澤村 京一, 田中 健太, 徳永 幸彦, 丹羽 隆介, 廣田 充, 伊藤 希, 大橋 一晴, 今 孝悦, 出川 洋介, 平川 泰久, 丸尾 文昭, 和田 茂樹, アゴス ティーニ シルバン レオナー ジョージ | 多様性生物学の観点から, 研究課題に関連するより広い領域の論文を購読させ, 自身の研究課題について体系化し, 学位論文のまとめ方について方針が立てられるよう指導する。 | 平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU110 | 多様性生物学講義I | 7 | 1.0 | 1 - 3 | 春AB | 応談 | 研究室 | 石田 健一郎, 稲垣 祐司, 橋本 哲男, 古久保-徳永 克男, 本多 正尚, 町田 龍一郎, 和田 洋, 濱 健夫, 桑原 朋彦, 澤村 京一, 田中 健太, 徳永 幸彦, 丹羽 隆介, 廣田 充 | 多様性生物学に関する研究結果のまとめ方, 研究論文・学位論文の作成方法を, 個々の事例ごとに具体的に解析し, 指導する。 | 平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU111 | 多様性生物学講義II | 7 | 1.0 | 1 - 3 | 春C秋A | 応談 | 研究室 | 石田 健一郎, 稲垣 祐司, 橋本 哲男, 古久保-徳永 克男, 本多 正尚, 町田 龍一郎, 和田 洋, 濱 健夫, 桑原 朋彦, 澤村 京一, 田中 健太, 徳永 幸彦, 丹羽 隆介, 廣田 充 | 多様性生物学に関する研究結果のまとめ方, 研究論文・学位論文の作成方法を, 個々の事例ごとに具体的に解析し, 指導する。 | 平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU112 | 多様性生物学講義III | 7 | 1.0 | 1 - 3 | 秋BC | 応談 | 研究室 | 石田 健一郎, 稲垣 祐司, 橋本 哲男, 古久保-徳永 克男, 本多 正尚, 町田 龍一郎, 和田 洋, 濱 健夫, 桑原 朋彦, 澤村 京一, 田中 健太, 徳永 幸彦, 丹羽 隆介, 廣田 充 | 多様性生物学に関する研究結果のまとめ方, 研究論文・学位論文の作成方法を, 個々の事例ごとに具体的に解析し, 指導する。 | 平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU201 | 細胞生物学セミナーC1 | 2 | 1.0 | 1 | 春AB | 応談 | 研究室 | 笹倉 靖徳, 中田 和人, 千葉 親文, 中野 賢太郎, 宮村 新一, 大網 一則, 櫻井 啓輔, 堀江 健生 | 細胞生物学の観点から, 研究課題に関連する論文を購読させ, 実験の方法や考え方の有用性と限界, 新しい方法や視点の開発などにつき, 具体的な研究例を取り上げて討論する。 | 平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU202 | 細胞生物学セミナーC1I | 2 | 1.0 | 1 | 春C秋A | 応談 | 研究室 | 笹倉 靖徳, 中田 和人, 千葉 親文, 中野 賢太郎, 宮村 新一, 大網 一則, 櫻井 啓輔, 堀江 健生 | 細胞生物学の観点から, 研究課題に関連する論文を購読させ, 実験の方法や考え方の有用性と限界, 新しい方法や視点の開発などにつき, 具体的な研究例を取り上げて討論する。 | 平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU203 | 細胞生物学セミナーC1II | 2 | 1.0 | 1 | 秋BC | 応談 | 研究室 | 笹倉 靖徳, 中田 和人, 千葉 親文, 中野 賢太郎, 宮村 新一, 大網 一則, 櫻井 啓輔, 堀江 健生 | 細胞生物学の観点から, 研究課題に関連する論文を購読させ, 実験の方法や考え方の有用性と限界, 新しい方法や視点の開発などにつき, 具体的な研究例を取り上げて討論する。 | 平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU204 | 細胞生物学セミナーD1 | 2 | 1.0 | 2 | 春AB | 応談 | 研究室 | 笹倉 靖徳, 中田 和人, 千葉 親文, 中野 賢太郎, 宮村 新一, 大網 一則, 櫻井 啓輔, 堀江 健生 | 細胞生物学の観点から, 研究課題に関連する論文を購読させ, 実験の方法や考え方, 得られたデータの解析と解釈, 国内外の類似の研究との比較検討などにつき, 実際の例に基づいて討論する。 | 平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|----------------|------|-----|--------|------|-----|-----|---|---|----------------------------------|
| 02AU205 | 細胞生物科学セミナーDII | 2 | 1.0 | 2 | 春秋A | 応談 | 研究室 | 笹倉 靖徳, 中田和人, 千葉 親文, 中野 賢太郎, 宮村 新一, 大網 一則, 櫻井 啓輔, 堀江 健生 | 細胞生物科学の観点から, 研究課題に関連する論文を購読させ, 実験の方法や考え方, 得られたデータの解析と解釈, 国内外の類似の研究との比較検討などにつき, 実際の例に基づいて討論する。 | 平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU206 | 細胞生物科学セミナーDIII | 2 | 1.0 | 2 | 秋BC | 応談 | 研究室 | 笹倉 靖徳, 中田和人, 千葉 親文, 中野 賢太郎, 宮村 新一, 大網 一則, 櫻井 啓輔, 堀江 健生 | 細胞生物科学の観点から, 研究課題に関連する論文を購読させ, 実験の方法や考え方, 得られたデータの解析と解釈, 国内外の類似の研究との比較検討などにつき, 実際の例に基づいて討論する。 | 平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU207 | 細胞生物科学セミナーEI | 2 | 1.0 | 3 | 春AB | 応談 | 研究室 | 笹倉 靖徳, 中田和人, 千葉 親文, 中野 賢太郎, 宮村 新一, 大網 一則, 櫻井 啓輔, 堀江 健生 | 細胞生物科学の観点から, 研究課題に関連するより広い領域の論文を購読させ, 自身の研究課題について体系化し, 学位論文のまとめ方について方針が立てられるよう指導する。 | 平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU208 | 細胞生物科学セミナーEII | 2 | 1.0 | 3 | 春秋A | 応談 | 研究室 | 笹倉 靖徳, 中田和人, 千葉 親文, 中野 賢太郎, 宮村 新一, 大網 一則, 櫻井 啓輔, 堀江 健生 | 細胞生物科学の観点から, 研究課題に関連するより広い領域の論文を購読させ, 自身の研究課題について体系化し, 学位論文のまとめ方について方針が立てられるよう指導する。 | 平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU209 | 細胞生物科学セミナーEIII | 2 | 1.0 | 3 | 秋BC | 応談 | 研究室 | 笹倉 靖徳, 中田和人, 千葉 親文, 中野 賢太郎, 宮村 新一, 大網 一則, 櫻井 啓輔, 堀江 健生 | 細胞生物科学の観点から, 研究課題に関連するより広い領域の論文を購読させ, 自身の研究課題について体系化し, 学位論文のまとめ方について方針が立てられるよう指導する。 | 平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU210 | 細胞生物科学講究I | 7 | 1.0 | 1 - 3 | 春AB | 応談 | 研究室 | 笹倉 靖徳, 中田和人, 千葉 親文, 中野 賢太郎, 宮村 新一, 阿部 訓也, 大西 和夫, 野崎 智義, 細谷 昌樹, 加藤 薫, 栗崎 晃, 設楽 浩志, 永宗 喜三郎, 廣瀬 恵子 | 細胞生物科学に関する研究結果のまとめ方, 研究論文・学位論文の作成方法を, 個々の事例ごとに具体的に解析し, 指導する。 | 平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU211 | 細胞生物科学講究II | 7 | 1.0 | 1 - 3 | 春秋A | 応談 | 研究室 | 笹倉 靖徳, 中田和人, 千葉 親文, 中野 賢太郎, 宮村 新一, 阿部 訓也, 大西 和夫, 野崎 智義, 細谷 昌樹, 加藤 薫, 栗崎 晃, 設楽 浩志, 永宗 喜三郎, 廣瀬 恵子 | 細胞生物科学に関する研究結果のまとめ方, 研究論文・学位論文の作成方法を, 個々の事例ごとに具体的に解析し, 指導する。 | 平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU212 | 細胞生物科学講究III | 7 | 1.0 | 1 - 3 | 秋BC | 応談 | 研究室 | 笹倉 靖徳, 中田和人, 千葉 親文, 中野 賢太郎, 宮村 新一, 阿部 訓也, 大西 和夫, 野崎 智義, 細谷 昌樹, 加藤 薫, 栗崎 晃, 設楽 浩志, 永宗 喜三郎, 廣瀬 恵子 | 細胞生物科学に関する研究結果のまとめ方, 研究論文・学位論文の作成方法を, 個々の事例ごとに具体的に解析し, 指導する。 | 平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU301 | 分子生物科学セミナーCI | 2 | 1.0 | 1 | 春AB | 応談 | 研究室 | 稲葉 一男, 千葉 智樹, 鈴木 石根, 桑山 秀一, 坂本 和一, 中野 裕昭, 三浦 謙治, 谷口 俊介, 柴 小菊, 鶴田 文憲 | 分子生物科学の観点から, 研究課題に関連する論文を購読させ, 実験の方法や考え方の有用性と限界, 新しい方法や視点の開発などにつき, 具体的な研究例を取り上げて討論する。 | 平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|----------------|------|-----|--------|------|-----|-----|--|---|----------------------------------|
| 02AU302 | 分子生物科学セミナーCII | 2 | 1.0 | 1 | 春C秋A | 応談 | 研究室 | 稲葉 一男, 千葉智樹, 鈴木 石根, 桑山 秀一, 坂本 和一, 中野 裕昭, 三浦 謙治, 谷口 俊介, 柴 小菊, 鶴田 文憲 | 分子生物科学の観点から, 研究課題に関連する論文を購読させ, 実験の方法や考え方の有用性と限界, 新しい方法や視点の開発などにつき, 具体的な研究例を取り上げて討論する。 | 平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU303 | 分子生物科学セミナーCIII | 2 | 1.0 | 1 | 秋BC | 応談 | 研究室 | 稲葉 一男, 千葉智樹, 鈴木 石根, 桑山 秀一, 坂本 和一, 中野 裕昭, 三浦 謙治, 谷口 俊介, 柴 小菊, 鶴田 文憲 | 分子生物科学の観点から, 研究課題に関連する論文を購読させ, 実験の方法や考え方の有用性と限界, 新しい方法や視点の開発などにつき, 具体的な研究例を取り上げて討論する。 | 平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU304 | 分子生物科学セミナーDI | 2 | 1.0 | 2 | 春AB | 応談 | 研究室 | 稲葉 一男, 千葉智樹, 鈴木 石根, 桑山 秀一, 坂本 和一, 中野 裕昭, 三浦 謙治, 谷口 俊介, 柴 小菊, 鶴田 文憲 | 分子生物科学の観点から, 研究課題に関連する論文を購読させ, 実験の方法や考え方, 得られたデータの解析と解釈, 国内外の類似の研究との比較検討などにつき, 実際の例に基づいて討論する。 | 平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU305 | 分子生物科学セミナーDII | 2 | 1.0 | 2 | 春C秋A | 応談 | 研究室 | 稲葉 一男, 千葉智樹, 鈴木 石根, 桑山 秀一, 坂本 和一, 中野 裕昭, 三浦 謙治, 谷口 俊介, 柴 小菊, 鶴田 文憲 | 分子生物科学の観点から, 研究課題に関連する論文を購読させ, 実験の方法や考え方, 得られたデータの解析と解釈, 国内外の類似の研究との比較検討などにつき, 実際の例に基づいて討論する。 | 平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU306 | 分子生物科学セミナーDIII | 2 | 1.0 | 2 | 秋BC | 応談 | 研究室 | 稲葉 一男, 千葉智樹, 鈴木 石根, 桑山 秀一, 坂本 和一, 中野 裕昭, 三浦 謙治, 谷口 俊介, 柴 小菊, 鶴田 文憲 | 分子生物科学の観点から, 研究課題に関連する論文を購読させ, 実験の方法や考え方, 得られたデータの解析と解釈, 国内外の類似の研究との比較検討などにつき, 実際の例に基づいて討論する。 | 平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU307 | 分子生物科学セミナーEI | 2 | 1.0 | 3 | 春AB | 応談 | 研究室 | 稲葉 一男, 千葉智樹, 鈴木 石根, 桑山 秀一, 坂本 和一, 中野 裕昭, 三浦 謙治, 谷口 俊介, 柴 小菊, 鶴田 文憲 | 分子生物科学の観点から, 研究課題に関連するより広い領域の論文を購読させ, 自身の研究課題について体系化し, 学位論文のまとめ方について方針が立てられるよう指導する。 | 平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU308 | 分子生物科学セミナーEII | 2 | 1.0 | 3 | 春C秋A | 応談 | 研究室 | 稲葉 一男, 千葉智樹, 鈴木 石根, 桑山 秀一, 坂本 和一, 中野 裕昭, 三浦 謙治, 谷口 俊介, 柴 小菊, 鶴田 文憲 | 分子生物科学の観点から, 研究課題に関連するより広い領域の論文を購読させ, 自身の研究課題について体系化し, 学位論文のまとめ方について方針が立てられるよう指導する。 | 平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU309 | 分子生物科学セミナーEIII | 2 | 1.0 | 3 | 秋BC | 応談 | 研究室 | 稲葉 一男, 千葉智樹, 鈴木 石根, 桑山 秀一, 坂本 和一, 中野 裕昭, 三浦 謙治, 谷口 俊介, 柴 小菊, 鶴田 文憲 | 分子生物科学の観点から, 研究課題に関連するより広い領域の論文を購読させ, 自身の研究課題について体系化し, 学位論文のまとめ方について方針が立てられるよう指導する。 | 平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU310 | 分子生物科学講究I | 7 | 1.0 | 1 - 3 | 春AB | 応談 | 研究室 | 稲葉 一男, 千葉智樹, 鈴木 石根, 桑山 秀一, 坂本 和一, 三浦 謙治, 谷口 俊介 | 分子生物科学に関する研究結果のまとめ方, 研究論文・学位論文の作成方法を, 個々の事例ごとに具体的に解析し, 指導する。 | 平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |
| 02AU311 | 分子生物科学講究II | 7 | 1.0 | 1 - 3 | 春C秋A | 応談 | 研究室 | 稲葉 一男, 千葉智樹, 鈴木 石根, 桑山 秀一, 坂本 和一, 三浦 謙治, 谷口 俊介 | 分子生物科学に関する研究結果のまとめ方, 研究論文・学位論文の作成方法を, 個々の事例ごとに具体的に解析し, 指導する。 | 平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|-------------|------|-----|--------|------|-----|-----|---|--|----------------------------------|
| 02AU312 | 分子生物科学講究III | 7 | 1.0 | 1 - 3 | 秋BC | 応談 | 研究室 | 稲葉 一男, 千葉 智樹, 鈴木 石根, 桑山 秀一, 坂本 和一, 三浦 謙治, 谷口 俊介 | 分子生物科学に関する研究結果のまとめ方, 研究論文・学位論文の作成方法を, 個々の事例ごとに具体的に解析し, 指導する. | 平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 |